

## 案件化調査

# モンゴル国 効率的な鉄道線路保守作業の導入に係る案件化調査

### 企業・サイト概要

- 提案企業：東研工業株式会社
- 提案企業所在地：宮城県仙台市
- サイト・C/P機関：ウランバートル近郊の鉄道営業線、ウランバートル鉄道(UBTZ)



### モンゴル国の開発課題

モンゴル国では鉄道は重要な輸送機関であるが、特に貨物輸送は石炭や銅等の豊富な地下資源に恵まれた同国の重要な経済インフラとなっている。しかし旧ソ連の支援で整備された施設は老朽化しており、適切な保守作業を行って安全性と安定性を確保することが急務となっている。

### 中小企業の技術・製品

「メモレール」は折り畳み式の軽量で操作が容易な軌道検測装置であり、軌道の軌間、水準、高低、通り、平面性を検測できる。また搭載するパソコンにより、データをリアルタイムでグラフ化してモニターで確認できるのみでなく、帳票出力も可能である。

### 調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

**普及・実証事業**：「メモレール」を保守作業の現場に常備し、日常的に軌道の状態を検測することにより、異常を早期発見して迅速な保守作業計画が策定できる。さらに車両動揺測定器等の検査機材を組合わせて効率的に異常個所のデータを取得し、これに基づく適切な保守作業実施体制の導入を図ることにより、列車運行の安全性が確保される。

### 日本の中小企業のビジネス展開

モンゴルにおいて、定期的メンテナンスや臨時の修理に対応できるパートナー会社を確保し、アフターケア体制を充実させることによって顧客であるウランバートル鉄道との関係を構築し販売拡大を目指す。モンゴルと同じ軌間(1520mm)や東南アジアに多い軌間(1000mm)等、我が国にない規格の鉄道を運営する国に対して製品の製造販売に対応できる体制を整備し、多様な規格に対応した輸出拡大を図る。